

2025年5月16日

日本農薬株式会社

当社連結子会社におけるサイバー攻撃による被害の発生に関するお知らせ(第二報)

当社の連結子会社である、株式会社ニチノ一緑化(以下、「NR」といいます。)は2025年2月14日に「サイバー攻撃による被害の発生に関するお知らせ」において、NRが保管する企業情報及び個人情報の一部が暗号化されていることを認識し、外部専門家の助言の下、影響範囲等の調査と復旧への対応を進めている旨をお知らせいたしました。今般、外部専門家による調査の結果、NRが保管するデータ等への被害の概要が判明しましたので、第二報としてお知らせいたします。

お取引先様、関係先の皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 概要

2025年2月11日にNRのサーバにおいてデータの一部が暗号化されアクセスができない状況を確認いたしました。その後の調査により、身元不明の悪意ある第三者によるランサムウェアを使った不正アクセス被害であること、及び当該サーバにはNRのお取引先様等の個人情報やNRの事業活動に必要な技術情報・営業情報が含まれていることを確認しました。さらに今般、外部専門家による調査の結果、その種類及び量は特定出来ないものの、一部のデータについて漏洩の可能性が完全には否定できないことが判明いたしました。

なお、今回攻撃を受けたサーバはNRのみが使用しているものであり、NICHINOグループ各社のシステムには影響がありませんでした。

2. 本件の原因

詳細な侵入経路の特定にはいたりませんでした。システムの脆弱性を悪用してNRのサーバへ悪意のある第三者が侵入し、NR社内のアクセス情報が窃取され、不正なプログラムをインストールされたことにより、データの一部の暗号化に至ったことが判明しております。

3. 漏洩が発生したおそれのある個人情報及び技術情報・営業情報

- ・NRのお取引先等の氏名、住所、電話番号
- ・NRの事業活動に必要な管理会計データ、工事関連書面、製品試験データ等

4. 今後の対応、再発防止策

不正アクセスの対象となったサーバに保存されていた個人情報に関係する方々へは、NRから個別にお知らせをするとともに、二次被害の疑いなどに関するお問合せ窓口を設置し対応してまいります。

また、NRのシステムは既にセキュリティの高いネットワークへの切り替えを行い、全PC等の初期化、保存データのクラウド化などの再発防止策に取り組んでおり、一部に障害の影響が残っておりますが、2025年2月25日よりおおむね平常どおり稼働しております。

今後NRでは個人情報等取り扱いルールの見直しと従業員教育の徹底を図り、外部専門家の意見を取り入れながらネットワークセキュリティの一層の強化に取り組むなど、再発防止の徹底を図ってまいります。

当社といたしましても今回の事態を重く受け止め、グループ会社のサイバーセキュリティを一層強化してまいります。

以上

(お問い合わせ先)

日本農薬株式会社 総務・法務部

TEL:0570-09-1177